

2021年度第8回受託研究審査委員会の記録の概要

開催日時：2021年12月15日（水） 16時33分から16時46分

開催場所：静岡医療センター 地域医療研修室

出席委員氏名及び職名

委員長：田邊 潤 （臨床研究部長）

外部委員：青木 千賀子（日本大学国際関係学部非常勤講師）

外部委員：山崎 久美子（静岡県立東部特別支援学校 副校長）

委員：鈴木 祥司（医局長・泌尿器科医長）

委員：高木 亮（薬剤部長）

委員：山根 優乃（看護部長）

委員：森 元春（事務部長）

委員：式町 征一（業務班長）

欠席委員氏名及び職名

副委員長：溝口 功一（副院長）

外部委員：杉村 伸一（社会福祉法人静岡恵明学園赤ちゃんセンター静岡恵明学園園長）

委員：小澤 章子（統括診療部長）

委員：大屋 聖郎（副医局長・救急総合診療科部長）

委員：宮森 勇仁（企画課長）

審議事項

【新規承認】

議題1

課題名：アッヴィ合同会社の依頼による ABBV-154 の第 II 相試験

【依頼者：アッヴィ合同会社、開発の相：第 II 相、対象疾患：クローン病、被験薬：ABBV-154】
の開始について

＜当該試験に関係のある委員＞なし

＜審査内容＞

治験依頼書および添付資料に基づき、試験の実施の適否を審査した。

審議結果：承認する

【継続承認】

議題2

課題名：潰瘍性大腸炎患者を対象としたウパダシチニブ (ABT-494) の安全性及び有効性を評価する第 III

相多施設共同非盲検継続投与試験

【依頼者：アッヴィ合同会社、開発の相：第Ⅲ相、対象疾患：潰瘍性大腸炎、被験薬：ABT-494】
の継続について

＜当該試験に関係のある委員＞なし

＜審査内容＞

安全性情報等に関する報告書について、試験を継続することの妥当性を審議した。

審議結果：承認する

議題 3

課題名：クローン病患者を対象としてrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照52週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験

【依頼者：アッヴィ合同会社、開発の相：第Ⅲ相、対象疾患：クローン病、被験薬：ABBV-066】
の継続について

＜当該試験に関係のある委員＞なし

＜審査内容＞

安全性情報等に関する報告書および治験に関する変更申請書について、試験を継続することの妥当性を審議した。

審議結果：承認する

議題 4

課題名：中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験
療法試験

【依頼者：アッヴィ合同会社、開発の相：第Ⅱb/Ⅲ相、対象疾患：潰瘍性大腸炎、被験薬：ABBV-066】
の継続について

＜当該試験に関係のある委員＞なし

＜審査内容＞

安全性情報等に関する報告書および治験に関する変更申請書について、試験を継続することの妥当性を審議した。

審議結果：承認する

議題 5

課題名：潰瘍性大腸炎患者を対象として risankizumab の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照 52 週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験

【依頼者：アッヴィ合同会社、開発の相：第Ⅲ相、対象疾患：潰瘍性大腸炎、被験薬：ABBV-066】
の継続について

＜当該試験に関係のある委員＞なし

＜審査内容＞

安全性情報等に関する報告書および治験に関する変更申請書について、試験を継続することの妥当性を審議した。

を審議した。

審議結果：承認する

議題 6

課題名：日本人の中等症又は重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象として OZANIMOD を経口投与したときの有効性及び長期安全性を評価する第 2/3 相多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照試験

【依頼者：セルジーン株式会社、開発の相：第Ⅱ/Ⅲ相、対象疾患：潰瘍性大腸炎、被験薬：Ozanimod (RPC1063)】

の継続について

＜当該試験に関係のある委員＞なし

＜審査内容＞

安全性情報等に関する報告書について、試験を継続することの妥当性を審議した。

審議結果：承認する

議題 7

課題名：SI-449 癒着防止システムの開腹による直腸切除術施行患者を対象とした無作為化試験

【依頼者：生化学工業株式会社、開発の相：第Ⅲ相、対象：直腸切除術施行患者、被験機器：SI-449】

の継続について

＜当該試験に関係のある委員＞なし

＜審査内容＞

治験に関する変更申請書について、試験を継続することの妥当性を審議した。

審議結果：承認する

議題 8

課題名：富士フイルム富山化学株式会社の依頼による発症早期 COVID-19 患者を対象としたファビピラビルの臨床第Ⅲ相試験

【依頼者：富士フイルム富山化学、開発の相：第Ⅲ相、対象疾患：COVID-19患者、被験薬：T-705a】

＜当該試験に関係のある委員＞なし

＜審査内容＞

治験に関する変更申請書について、試験を継続することの妥当性を審議した。

審議結果：承認する

議題 9

課題名：活動期クローン病患者を対象とした E6011 の早期第 2 相臨床試験

【依頼者：EAファーマ株式会社、開発の相：第Ⅱ相、対象疾患：クローン病、被験薬：E6011】

の継続について

＜当該試験に関係のある委員＞高木委員

＜審査内容＞

治験に関する変更申請書について、試験を継続することの妥当性を審議した。

審議結果：承認する

報告事項

生物学的製剤に対して効果不十分又は不耐容である中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としたupadacitinib（ABT-494）の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験および既存治療及び / 又は生物学的製剤に対して効果不十分又は不耐容である中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としたウパダシチニブ（ABT-494）の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験の終了報告がそれぞれあり、迅速審査で承認された。